

## 歯周病と全身疾患との関係をさらに実証せよ



東京医科歯科大学 名誉教授  
江 藤 一 洋

### 【略歴】

- 1941年 大分県生まれ
- 1967年 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 1971年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了(歯学博士)
- 1971年 東京医科歯科大学歯学部小児歯科文部教官助手<1976年6月まで>
- 1973年 米国国立衛生研究所(NIH) 客員研究員<1976年6月まで>
- 1978年 東京医科歯科大学歯学部文部教官教授<2007年3月まで>
- 1992年 東京医科歯科大学学生部長<1995年3月まで>
- 1997年 東京医科歯科大学歯学部長<2005年7月まで>
- 2001年 東京医科歯科大学副学長<2003年7月まで>
- 2006年 日本歯科医学会会長<2013年6月まで>
- 2007年 東京医科歯科大学名誉教授(現在に至る)

歯周病と全身疾患の直接的エビデンスはあるのか、これに応えるべく日本歯周病学会の「歯周病と全身の健康(2015)」は時宜を得たものである。重要な点はその第2部歯周病と全身疾患について現段階で規定されるメカニズムを「仮説」で示したことである。

一方、東医歯大岩井武尚名誉教授(血管外科)は「歯周病と全身の疾患との結びつき」—エビデンスに基づく仮説の形成へ—(歯界展望2022)、これは医科からの仮説の提示である。

また新潟大学山崎和久名誉教授による、歯周病と腸内細菌の関係から全身疾患の原因を解明しようとするユニークな研究があり、多くの仮説が含まれている。これほどの仮説が提示されたことはかつてなかったことである。これら仮説の実証は「命から遠い」といわれてきた歯科医療を命に近い存在にさせるものである。歯学研究者の奮起を期待したい。